

大学番号：私短008

注3

[平成25年度設置]

計画の区分：短大学科の設置

注1

届出

札幌大学女子短期大学部 キャリアデザイン学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人札幌大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画室

職名・氏名 シュカン トミナガ アキラ
主幹 富永 晃

電話番号 011-852-9135

（夜間） 011-852-1181

F A X 011-856-8268

e-mail tominaga@ofc.sapporo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	・・・P	1
2	授業科目の概要	・・・P	5
3	施設・設備の整備状況, 経費	・・・P	10
4	既設大学等の状況	・・・P	11
5	教員組織の状況	・・・P	13
6	留意事項に対する履行状況等	・・・P	19
7	その他全般的事項	・・・P	20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人札幌大学

(2) 大学名

札幌大学女子短期大学部

(3) 大学の位置

〒062-8520

北海道札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サトウ トシオ) 佐藤 俊夫 (平成21年8月20日)		
学長	(クワバラ マサト) 桑原 真人 (平成23年4月1日)		
学部長			
学科長	(カゲヤマ ヒロユキ) 景山 弘幸 (平成25年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
キャリアデザイン学科 短期大学士(教養)	2年	80人	— 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	人	人	80人	人	80人	人	()	()	0.44倍	
志願者数	()	()	()	()	75	()	60	()	()	()		
受験者数	()	()	()	()	75	()	60	()	()	()		
合格者数	()	()	()	()	72	()	58	()	()	()		
B 入学者数	()	()	()	()	41	()	30	()	()	()		
入学定員超過率 B/A					0.51		0.38					

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの**入学定員超過率の平均**を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[]	[]	[]	[]	[-] 41	[-]	[-] 30	[-]		
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[-] 38	[-]		
3年次			/		[]	[]	[]	[]	[]	
4年次					/		[]	[]	[]	[]
計			[]	[]			[-] 41	[-] 68		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	41人	3人	平成25年度	3人	人	就学意欲の低下(2人)、就職(1人)	7.3%
			平成26年度	0人	人		
平成26年度 入学者	30人	0人	平成26年度	0人	人		0%
合計	71人	3人					4.2%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<キャリアデザイン学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
教養科目	思想と文化	哲学のすすめ	1・2前		2							兼1	通常開講 (26) 履修希望者がいなかったため (25) 科目調整 (26) 履修希望者がいなかったため (25)	
		倫理と社会	1・2後		2							兼1		
			1・2前											
			未開講											
			未開講											
	世界の文学		1・2前			2						兼1		
			未開講											
	歴史と文化		未開講											
			未開講											
	日本の歴史	1・2前			2									
	小計 (5科目)		—	0	10	0	1	0	0	0	0			
	社会と人間	くらしと経済	1・2後			2		1						
		くらしと社会	1・2後			2								兼1
		女性のための法律	1・2後			2		1						
		小計 (3科目)		—	0	6	0	2	0	0	0	0		
	自然と人間	自然と人間	1・2前			2								兼1
		環境といのち	1・2後			2								兼1
			1・2後			2								時間割の都合上 (25)
		生物の社会	1・2前			2								兼1
小計 (3科目)		—	0	6	0	0	0	0	0	0				
心と身体		1・2前後										兼1	学生の履修機会の拡充 (26) 時間割の都合上 (25) 時間割の都合上 (25)	
	健康論	1・2後			2							兼1		
		1・2前			2									
	体育実技	1・2前後			1							兼10		
	心とからだA	1・2後			2							兼1		
心とからだB	1・2前			2							兼1			
小計 (4科目)		—	0	7	0	0	0	0	0	0				
専門科目	キャリア系	キャリアデザイン	1前		2								兼1	
		ライフデザイン	1後		2								兼1	
		ビジネスマナー概論	1前		2								兼1	
		ビジネスマナー実習A	1・2前		2								兼1	
		ビジネスマナー実習B	1・2後		2								兼1	
		社会人基礎A I	1前		2			1	2				配置人数の調整 (26)	
		社会人基礎A II	1後		2			1	2				配置人数の調整 (26)	
		社会人基礎B I	1前		2			1					配置人数の調整 (26)	
		社会人基礎B II	1後		2			1					配置人数の調整 (26)	
		生活と情報	1前		2								兼1	
			1・2後										兼1	
		ビジネス文書作成	1・2前		2								時間割の都合上 (26)	
ビジネスデータ分析	1・2後		2								兼1			
小計 (12科目)		—	14	10	0	2	2	0	0	0				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門科目	英語 I	1前		2		2	0 +				科目調整 (26)	
	英語 II	1後		2		0 2 0	1			兼2	科目調整 (26)	
	英語 III	2前		2		2 2	1			兼2	科目調整 (26)	
	英語 IV	2後		2		2	+				科目調整 (26)	
	中国語 I	1前		2		1						
	中国語 II	1後		2		1						
	中国語 III	2前										レベル別授業のため配当年次を変更 (25)
		1前		2		1					兼1	教育効果を高めるため担当者追加 (26)
	中国語 III	2後										レベル別授業のため配当年次を変更 (25)
							0					担当者変更 (26)
	中国語 IV	1後		2		+					兼1	
	コミュニケーション系	ロシア語 I	1前		2						兼2	
		ロシア語 II	1後		2						兼2	
	ロシア語 III	2前										レベル別授業のため配当年次を変更 (25)
		1前		2							兼1	
	ロシア語 III	2後										レベル別授業のため配当年次を変更 (25)
		1後		2							兼1	
	ロシア語 IV	1前		2							兼2	
	ロシア語 IV	1後		2							兼2	
	メディア英語 I	1前		2			1					
	メディア英語 II	1後		2			1					
	時事英語 I	1・2前										学生の履修機会の拡充 (26)
		2前										レベル別授業のため配当年次を変更 (25)
	時事英語 I	1前		2		1						
		1・2後										学生の履修機会の拡充 (26)
	時事英語 II	2後										レベル別授業のため配当年次を変更 (25)
1後			2		1							
国際交流入門	2前		2							兼1		
小計 (21科目)		—	0	42	0	3	1	0	0	0		
ビジネス系		1前										通常開講 (26)
		未開講										履修希望者がいなかったため (25)
	生活と金融	1前		2		1						
	現代金融事情	1後		2		1						
	簿記 I	1前		2		1						
	簿記 II	1後		2		1						
	会社と経営	1前		2		1						
	マーケティング総論	1前		2							兼1	
		未開講										科目調整 (26)
		未開講										履修希望者がいなかったため (25)
	ストアオペレーション	1前		2							兼1	
	流通販売総論	1後		2							兼1	
		未開講										科目調整 (26)
	未開講										担当者死去	
ビジネス関連法	1前		2							兼1		
情報プレゼンテーション	1後		2							兼1		
	未開講										科目調整 (26)	
観光サービス論	1前		2									
エアラインサービス	1後		2							兼1		
札幌学	2前		2			0 +				兼3	担当者追加・変更 (26)	
小計 (13科目)		—	0	26	0	3	0	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	演習・実習	ゼミナールⅠ	1前	2			3 6 3					配置人数の調整 (26)
		ゼミナールⅡ	1後	2			6 5					配置人数の調整 (26)
		ゼミナールⅢ	2前	2			6 5					学生の履修希望による (26)
		ゼミナールⅣ	2後	2			6					学生の履修希望による (26)
		地域社会実習A	1前 1前		1							兼1 時間割の都合上 (26)
		地域社会実習B	1後		1			1				兼1
		地域社会実習C	1後 未開講		1							兼1 科目調整 (26)
		地域社会演習A	1前		2							兼1
		地域社会演習B	1後		2							兼1
		インターンシップ	1・2後		2			1				
		海外研修	1・2後		2			1				
		小計 (11科目)		—	8	11	0	6	3	0	0	0
合計 (72科目)		—	22	118	0	7	3	0	0	0		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 11	科目 61	科目 0	科目 72	科目 11 [0]	科目 61 [0]	科目 0 [0]	科目 72 [0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	ストアオペレーション	2	1	専門	選択	科目調整による未開講
2	ビジネス関連法	2	1	専門	選択	科目調整による未開講
3	観光サービス論	2	1	専門	選択	科目調整による未開講
4	地域社会演習 A	2	1	専門	選択	担当教員の都合による未開講
5	歴史と文化	2	1~2	一般	選択	担当教員の都合による未開講

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

科目調整及び担当教員の都合上の措置である。なお、次年度以降は確実に開講できるよう準備を進めていきたい。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{6.94\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	札幌大学と共用			
	校 舎 敷 地	0㎡	90,142.00㎡	0㎡	90,142.00㎡				
	運 動 場 用 地	0㎡	91,804.36㎡	0㎡	91,804.36㎡				
	小 計	0㎡	181,946.36㎡	0㎡	181,946.36㎡				
	そ の 他	0㎡	66,528.17㎡	0㎡	66,528.17㎡				
	合 計	0㎡	248,474.53㎡	0㎡	248,474.53㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	札幌大学と共用			
		1,969.00㎡ (1,969.00㎡)	51,034.97㎡ (51,034.97㎡)	16,238.49㎡ (16,238.49㎡)	69,242.60㎡ (69,242.60㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	65 68室	52室	5室	14 11室 (補助職員 2人)	5室 (補助職員 0人)	札幌大学と共用		
	演 習 室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	キャリアデザイン学科			10 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	キャリアデザイン 学科	54,199 [13,339] 54,199 [11,087] (51,634 [13,339]) (53,011 [10,919])	264 [88] (264 [88])	[]	828 (804)	()	()		
	計	54,199 [13,339] 54,199 [11,087] (51,634 [13,339]) (53,011 [10,919])	264 [88] (264 [88])	[]	828 (804)	()	()		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		札幌大学と共用		
	7,525.17㎡		687		80万				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				札幌大学と共用		
	4,897.97㎡		野 球 場		サ ッ カ ー 場				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	電子ジャーナル等の経費は図書購入費に含まれていない共同研究費等については、札幌大学と共同
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	3,870千円	3,870千円	3,870千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	48,000千円	48,000千円	48,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,090千円	890千円	一千円	一千円	一千円	一千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	札幌大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
経済学部経済学科	4	—	—	—	学士 (経済学)	0.79	昭和42年	北海道札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号	平成25年度より学生募集停止
外国語学部英語学科	4	—	—	—	学士 (英語)	0.92	昭和42年		平成25年度より学生募集停止
外国語学部ロシア語学科	4	—	—	—	学士 (ロシア語)	0.58	昭和42年		平成25年度より学生募集停止
経営学部経営学科	4	—	—	—	学士 (経営学)	0.89	昭和43年		平成25年度より学生募集停止
法学部法学科	4	—	—	—	学士 (法学)	0.76	平成元年		平成25年度より学生募集停止
文化学部文化学科	4	—	—	—	学士 (文化学)	0.85	平成19年		平成25年度より学生募集停止
地域共創学群人間社会学域	4	900	—	3600	学士 (経済学) 学士 (英語) 学士 (ロシア語) 学士 (経営学) 学士 (法学) 学士 (文化学)	0.76	平成25年		
大学の名称	札幌大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
法学研究科法学専攻	2	10	—	20	修士 (法学)	0.30	平成9年	北海道札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号	
経営学研究科経営学専攻	2	10	—	20	修士 (経営学)	0.55	平成11年		
外国語学研究科英語学専攻	2	5	—	10	修士 (英語学)	0.30	平成12年		
外国語学研究科ロシア語学専攻	2	3	—	6	修士 (ロシア語学)	0.00	平成12年		
経済学研究科地域経済政策専攻	2	10	—	20	修士 (経済学)	0.15	平成13年		
文化学研究科文化学専攻	2	10	—	20	修士 (文化学)	0.45	平成13年		

大学の名称	札幌大学女子短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
英文学科	2	—	—	—	短期大学士 (英文学)	0.19	昭和43年	北海道札幌市豊 平区西岡3条7 丁目3番1号	平成25年度より学 生募集停止
経営学科	2	—	—	—	短期大学士 (経営学)	0.43	昭和57年		平成25年度より学 生募集停止
キャリアデザイン学科	2	80	—	160	短期大学士 (教養)	0.44	平成25年		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「—」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学, 短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位), 大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況
 <キャリアデザイン学科>
 (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	イノミ 勉 泉 敬史 (54)	平成25年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専任	教授	イノミ 勉 泉 敬史 (55)	平成25年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	担当者変更
専任	教授	カヤマ ヒロキ 景山 弘幸 (53)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 時事英語Ⅰ 時事英語Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専任	教授	カヤマ ヒロキ 景山 弘幸 (54)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 時事英語Ⅰ 時事英語Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 社会人基礎AⅠ 社会人基礎AⅡ	担当者変更 担当者変更 担当者変更
専任	教授	シロイ ヒロキ 金城 秀樹 (66)	平成25年4月	女性のための法律 札幌学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専任	教授	シロイ ヒロキ 金城 秀樹 (67)	平成25年4月	女性のための法律 札幌学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	担当者変更 科目調整 科目調整
専任	教授	グリーン ウィリアム グリーン、ウィリアム (47)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	専任	教授	グリーン ウィリアム グリーン、ウィリアム (48)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	担当者変更 担当者変更
専任	教授	ササキ ヒロキ 佐藤 秀次 (66)	平成25年4月	簿記Ⅰ 簿記Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ						
専任	教授	マツモト ケンタロウ 松本 源太郎 <65>	平成25年4月	くらしと経済 生活と金融 現代金融事情 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ						
専任	教授	ミヅキ ヒロキ 三ツ木 秀夫 (64)	平成25年4月	会社と経営 日本の歴史 社会人基礎BⅠ 社会人基礎BⅡ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ						
専任	准教授	カキハタ ヒロキ 長谷部 宗吉 (65)	平成25年4月	社会人基礎AⅠ 社会人基礎AⅡ インターンシップ						

5 教員組織の状況
 <キャリアデザイン学科>
 (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	ブラウン ダイアン (48)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 地域社会実習B	専任	准教授	ブラウン ダイアン (49)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 地域社会実習B メディア英語Ⅰ メディア英語Ⅱ	担当者変更 担当者変更 担当者変更 担当者変更
専任	准教授	松田 潤 (65)	平成25年4月	社会人基礎AⅠ 社会人基礎AⅡ 海外研修						
					兼任	講師	浅野 一弘 (45)	平成26年4月	札幌学	分野別に担当者を配置
兼任	講師	飯田 梅子 (39)	平成25年4月	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ ロシア語Ⅲ ロシア語Ⅳ						
兼任	講師	井上 敦子 (57)	平成25年4月	ロシア語Ⅲ ロシア語Ⅳ	兼任	講師	井上 敦子 (58)	平成25年4月	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ ロシア語Ⅲ ロシア語Ⅳ	担当者追加・変更 担当者追加・変更
兼任	講師	井上 繁夫 (63)	平成25年4月	地域社会実習C						
兼任	講師	岩倉 由貴 (32)	平成25年4月	マーケティング総論	兼任	講師	佐藤 芳彰 (62)	平成26年4月	マーケティング総論	担当者変更
					兼任	講師	大高 千咲子 (41)	平成26年4月	体育実技	担当者名追記
					兼任	講師	尾田 智彦 (54)	平成26年4月	英語Ⅲ	担当者変更
兼任	講師	梶浦 桂司 (45)	平成25年4月	ビジネス関連法						後任未定
					兼任	講師	何 木風 (34)	平成26年4月	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	担当者追加・変更 担当者変更
兼任	講師	河村 康泰 (47)	平成25年4月	心とからだA						
					兼任	講師	金 誠 (40)	平成26年4月	体育実技	担当者名追記
兼任	講師	工藤 孝史 (59)	平成25年4月	哲学のすすめ						
兼任	講師	工藤 利彦 (58)	平成25年4月	自然と人間 生物の社会						
兼任	講師	久野 弓枝 (45)	平成25年4月	地域社会実習A 国際交流入門						
					兼任	講師	小池 紀文 (61)	平成26年4月	体育実技	担当者名追記
兼任	講師	後藤 垂久 (47)	平成25年4月	メディア英語Ⅰ メディア英語Ⅱ	兼任	講師	後藤 垂久 (48)	平成25年4月	メディア英語Ⅰ メディア英語Ⅱ 英語Ⅱ	担当者変更 担当者変更
兼任	講師	小山 茂 (48)	平成25年4月	キャリアデザイン 生活と情報 ライフデザイン 地域社会演習B ビジネスデータ分析						

5 教員組織の状況
 <キャリアデザイン学科>
 (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	シスターノリ ナターリヤ (82)	平成26年4月	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ ロシア語Ⅲ ロシア語Ⅳ	担当者追加・変更 担当者追加・変更 担当者追加・変更 担当者追加・変更
					兼任	講師	ツリノ フミヨ 宗野 文俊 (43)	平成26年4月	体育実技	担当者名追記
					兼任	講師	ナベト ヒロキ 浦元 誠樹 (44)	平成26年4月	体育実技	担当者名追記
兼任	講師	チノ ヒロシ 千葉 博正 (65)	平成25年4月	流通販売総論						
兼任	講師	チノヒデノリ 中鉢 命兒 (64)	平成25年4月	観光サービス論						
兼任	講師	ツチノ フミヲ 東原 文郎 (35)	平成25年4月	地域社会演習A	兼任	講師	ツチノ フミヲ 東原 文郎 (36)	平成25年4月	地域社会演習A 体育実技	担当者名追記
兼任	講師	ナカノ トシユキ 中里 のぞみ (52)	平成25年4月	エアラインサービス						
兼任	講師	スエノ リキ 沼澤 拓也 (46)	平成25年4月	ストアオペレーション						
兼任	講師	ハヤシ ケンゾウ 林 研三 (82)	平成25年4月	くらしと社会						
兼任	講師	ハヤシ ユウコ 早矢仕 有子 (48)	平成25年4月	環境といのち						
兼任	講師	ヒノシ ナツコ 土方 直子 (47)	平成25年4月	ビジネスマナー概論 ビジネス文書作成 ビジネスマナー実習A ビジネスマナー実習B						
兼任	講師	ナベノ ヒロキ 堀江 育也 (39)	平成25年4月	社会人基礎Ⅰ 社会人基礎Ⅱ 情報プレゼンテーション						
兼任	講師	ナベノ ヒロキ 堀川 哲 (88)	平成25年4月	倫理と社会						
兼任	講師	ホンダ ユウコ 本田 優子 (55)	平成25年4月	歴史と文化						
					兼任	講師	マシノ ユウコ 増田 敦 (51)	平成26年4月	体育実技	担当者名追記
					兼任	講師	マシノ ヒロコ 松友 知香子 (40)	平成26年4月	札幌学	分野別に担当者を配属
					兼任	講師	マシノ ヒロコ 武者 加苗 (35)	平成26年4月	札幌学	分野別に担当者を配属
					兼任	講師	ヤノ ヒロコ 谷代 一哉 (42)	平成26年4月	体育実技	担当者名追記
兼任	講師	ヤシタ ナツコ 安田 貴 (43)	平成25年4月	体育実技						
兼任	講師	ヤマノ ナツコ 山田 実千代 (82)	平成25年4月	心とからだⅡ						
兼任	講師	ヤシタ ヒロコ 米田 浩 (58)	平成25年4月	健康論	兼任	講師	ヤシタ ヒロコ 米田 浩 (59)	平成25年4月	健康論 体育実技	担当者名追記
兼任	講師	リキヨシ 李 景珉 (66)	平成25年4月	コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ						

5 教員組織の状況

<キャリアデザイン学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ワタハ ^レ アサミ 渡部 あさみ (37)	平成25年4月	世界の文学	兼任	講師	ワタハ ^レ アサミ 渡部 あさみ (38)	平成25年4月	世界の文学 英語Ⅱ 英語Ⅲ	担当者変更 担当者変更

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(○)学部 (△)学科の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
7	3	0	0	10	7	3	0	0	10		
(7)	(3)	(0)	(0)	(10)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	65歳	6名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	該当なし		
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	キャリアデザイン学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	平成26年3月20日開催の常勤理事会において、女子短期大学部キャリアデザイン学科の教員組織編成の将来構想に関わる方向性を確認した。	短期大学設置基準に定める必要専任教員数(9人)の内、2/3以上を定年年齢に満たない教員で構成することを目指す。なお、この基準を早期に達成するため、平成27年4月1日を目途に、将来構想に沿った人事計画のもと、必要とされる分野・科目を考慮した若手教員の公募及び同一法人内の札幌大学から教員の転籍を行う等の方法により、改善を図る。
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<キャリアデザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成25年4月からのキャリアデザイン学科開設に併せ、教授会が中心となり、1学群体制に組織改編した札幌大学のFD推進プロジェクト（専任教職員および学生により構成）と連携を取りながらFD活動を運営することとし、現在に至っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

適宜開催される教授会において議論を重ねている。

c 委員会の審議事項等

- ・ 学生FD委員会（札大おこし隊）の活動支援
- ・ 教員の授業改善に向けた取組み（公開授業・検討会の実施、授業改善アンケートの実施）
- ・ 組織的FD活動へ向けた体制の見直し（大学におけるセンター方式の可能性の検討との連携）

② 実施状況

a 実施内容

（平成26年度計画）

- ・ 授業評価アンケートの実施
- ・ 学外FD協議会及び学生FDサミット等への参加

b 実施方法

学長及び学科長の下、組織的に事業を展開する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（参考）平成25年度の状況

- ・ FD講演会の開催。教員10人、職員3人、学生4人が参加。演題は以下のとおり。
 - 「ラーニング・ポートフォリオの意義と授業への導入」
 - 「大学教育の質保証：学生による授業コンサルティングプログラムの導入」
- ・ 学外FD協議会（ネットワーク”つばさ”）及び学生FDサミット等（立命館大学、追手門大学）への参加
- ・ 学生FD委員会主催によるカフェプロジェクト（054カフェ）の実施

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
教授会において各種取組み結果を踏まえた授業改善について検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
授業改善中間及び期末アンケートを実施した。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
アンケート結果を報告書に取りまとめ教職員に配布した。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、平成25年4月より短期大学教育の伝統である教養教育を保持しつつも、キャリア形成の基盤促成に比重をシフトし、従来型の2学科(英文学科・経営学科)を1学科(キャリアデザイン学科)へと改組転換した。「主体性をもって、現代社会を生き抜く教養を備え、他者とのきずなを育みながら協働し、公共の基盤を下から、誠実に支える気概をもって、地域社会を共創する人材の育成・輩出」を目指すこととした。その際、体験知を重視する観点からアクティブラーニング、サービスラーニングの科目を充実させ、「出会いプログラム」と「体験プログラム」を立ち上げるとともに、就職活動スーツの企業とのコラボ製作、こどもパートナー講座、インターンシップ、短期海外研修などへの積極的参加を強く推奨してゆくこととした。さらにまた、週2回の語学教育を2年間推奨するだけでなく、時間割外の「朝塾」や「語学アワー」への参加を促し、コミュニケーション能力の促進に努めることとした。

新学科にあっては、科目担当予定者(兼任講師)の急逝という不測の事態と入学定員の未充足による科目履修者数僅少という問題があったものの、概ねスムーズにスタートを切ることができた。次年度以降は何よりも定員充足に最大限の努力が払われなければならない。そのためには設置趣旨および教育内容の周知と理解に即ち邁進し、新たな理念に基づく教育研究の促進と学生サービスの充実はもとより、進学相談会、高校訪問、オープンキャンパス等の学生募集活動に総力をあげて取り組んでゆく決意である。

今年度は開設2年目であり、自己点検・評価の具体的検討段階に到達している。爾後随時、設置の趣旨・目的およびその達成手段である教育課程の履行状況を精査し、設置計画を着実に履行していくつもりである。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表(予定)時期
・平成26年度中を予定
- b 公表方法
・ホームページにて公表予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成27年度に認証評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成26年6月)